

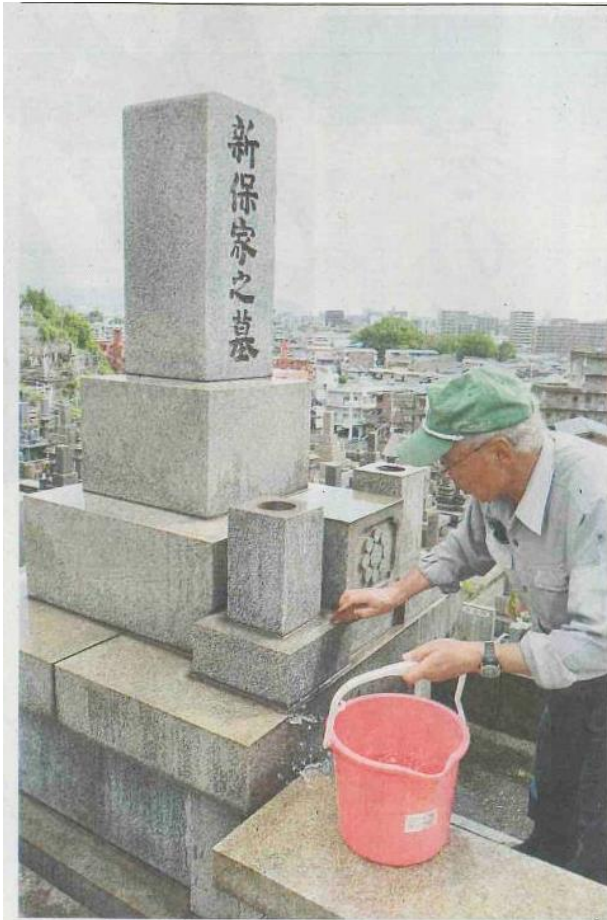
新聞名／掲載日

南日本新聞／2020年8月13日（木）

16面 地域総合 みなみネット@鹿児島都市圏

キャプション：帰省自粛の家族も依頼 墓守サービス

掲載：鹿児島市 SC



たわしで墓石の汚れを落とす関口貞夫さん
＝12日、鹿児島市の郡元墓地

コロナ禍の夏

鹿児島スケッチ

①

力所当たり1〜3時間。猛暑の時期、決して楽な仕事ではない。

「コロナだけじゃなく、

特に盆前は最大の繁忙期になる。依頼はここ数年横ばいだったが、今夏は新型コロナウイルスの影響で帰省を自粛した東京や大阪などに在住の県出身者から、新規依頼が5件入った。

（桑元伸二）

墓守サービス

この日、関口さんは郡元と武岡墓地で計4カ所の墓参りを代行した。草をむしり、コケを取り、墓石を磨き、花を供える。作業は1

点描する。（随時掲載）

12日午前8時すぎ、鹿児島市の郡元墓地に、市シルバー人材センターの関口貞夫さん（72）と下福元町IIがいた。手にはほうきとたわし。夏の日差しは朝でも厳しく、墓石を手入れする関口さんは汗びっしょりだ。

センターには墓守サービスの依頼が年間約550件ある。90件が8月に集中し、

帰省自粛の家族も依頼